

人物のしたことから人がらを考えよう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

人物の したことから、どんな人がらか考えよう

お話を読もう

- ① 雨の日、こうたは店の前で、かさをたたもうとした。すると、おじいさんが大きな荷物^{にもつ}をかかえて、ドア^あを開けられずにこまっていた。
- ② こうたは、かさを わきにはさみ、だまってドアをおさえた。おじいさんが通りぬけると、こうたは小さくうなずいた。

いっしょにやってみよう

れい こまっていたのは だれ？

ステップ ①

「こまっていた」をさがす。

ステップ ②

その前を読む。

ステップ ③

おじいさん

やってみよう

できたところまでで OK

① おじいさんは、なぜ こまっていた？

② こうたは、何をした？

☐

ドアをおさえた

☐

かさをわたした

☐

荷物^{にもつ}をもった

③ こうたは、どんな人がらだと思う？

☐

人をたすける、やさしい人

☐

いじわるな人

☐

わすれっぽい人

答え

1. 大きな荷物^{にもつ}をかかえて、ドア^あを開けられなかったから 2. ドアをおさえた 3. 人をたすける、やさしい人

ていねいな言葉

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

あいて ばめん
相手や場面に合わせて、ていねいな言葉を使おう

まず、たしかめよう

- はじめて会う人、年上の人、お店の人などには、**ていねいな言葉**を使う。
- 「～です」「～ます」「～ください」をつけると、ていねいになる。
- れい：「これ、だれの？」→「これは、どなたのですか。」

いっしょにやってみよう

れい 「ここにすわっていい？」をていねいに言うとは？

ステップ①

だれに話す？
はじめて会う人。

ステップ②

「～ですか」を
使う。

ステップ③

ここにすわっても
いいですか。

やってみよう

できたところまででOK

① お店のの人にねだんをたずねる。ていねいなのは？

☐ これ、いくら？

☐ これはいくらですか。

② 「ペンかして。」を、ていねいな言い方にしよう。

③ 「ありがとう。」を、ていねいな言い方にしよう。

答え

1. これはいくらですか。 2. 例：ペンをかしてください。 3. 例：ありがとうございます。

かんじ

漢字（人をあらわす①）

たしかめ いっしょに やってみよう（2もん）

きょうの
めあて

人をあらわす漢字「君・者・主・他」を読んで書こう

きょうの漢字

君

音 クン

訓 きみ

君・山田君

者

音 シャ

訓 もの

学者・医者

主

音 シュ

訓 ぬし・おも

主人公・主な

他

音 タ

訓 彼の・その他

いっしょにやってみよう

れい 「しゅじんこう」の「しゅ」は？

① お話の中心の人

② 「主」と書く

③ 答え **主** 人公

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 君の名前。

(2) 学者の話。

(3) お話の主人公。

(4) 他の本も読む。

② □に漢字を書こう。

(1) ^{きみ}はどう思う？

(2) 医 ^{しゃ}にみてもらう。

(3) ^{おも}な話。

(4) その ^たの色。

答え 1. (1) きみ (2) しゃ (3) しゅ (4) た 2. (1) 君 (2) 者 (3) 主 (4) 他

あんないの手紙

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「いつ・どこで・何を」がわかる あんないの手紙を書こう

まず、たしかめよう

- あんないの手紙には、いつ・どこで・何をするかを かならず書く。

何を	いつ	どこで
おはなし会	十一月三日 (祝日) 午前十時から	中央図書館 二かい

いっしょにやってみよう

れい 「いつ」は、表のどこを見る？

① 「いつ」の
らんを見る。

② 日と時こくを書く。

③ 十一月三日
午前十時から

やってみよう

できたところまでで OK

① 表を見て、() に書こう。

(1) いつ ()

(2) どこで ()

② あんないの手紙に書かなくても よいものは？

☐ はじまる時間

☐ ばしょ

☐ 自分の すきな色

③ 表を見て、おはなし会に さそう文を書こう。

答え

1. 十一月三日 午前十時から 中央図書館 二かい 2. 自分の すきな色

3. 例：十一月三日の午前十時から、中央図書館の二かいでおはなし会があります。いっしょに行きませんか。

「です・ます」と「だ・である」

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

文のおわりの書き方を そろえよう

🔍 まず、たしかめよう

- **です・ます** ...ていねいな書き方。 れい：空は青いです。
- **だ・である** ...ふつうの書き方。 れい：空は青い。空は青いのだ。
- 一つの文^{ぶんしょう}の中では、どちらかに そろえて書く。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「空は青い。」を「です・ます」にすると？

ステップ ①

文のおわりを
見る。

ステップ ②

「です」を
つける。

ステップ ③

空は青いです。

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「わたしは 犬がすきだ。」を「です・ます」の書き方に。

② 「きょうは 雨です。」を「だ・である」の書き方に。

③ 書き方が そろっていないのは？

ア 朝ごはんを食べた。それから、^は歯をみがいた。

イ 朝ごはんを食べました。それから、^は歯をみがいた。

☐ ア ☐ イ

答え 1. わたしは犬がすきです。 2. 例：きょうは 雨だ。（雨である。） 3. イ